

[スイーツセミナー]

術後せん妄の新時代 日本版術後せん妄プラクティカルガイドの 概要と今後取り組むべきこと

座長

木村 嘉之 先生

獨協医科大学医学部 麻酔科学講座

演者

川股 知之先生

和歌山県立医科大学 麻酔科学教室

日本は世界に類を見ない超高齢社会を迎え、高齢者が手術を受ける機会が増加しています。「レセプト情報・特定健診等情報データベース」によると、65歳以上の全身麻酔症例数は2014年度には全症例数の50.4%を占めていましたが、2022年度には56.7%に増加しました。また、85歳以上の症例についても2014年度の5.9%から2020年度には8.2%と増加傾向がみられます。今後も全身麻酔管理手術を受ける患者の高齢化が一層進行すると予測されています。

高齢者の周術期に頻発する合併症の1つが、術後せん妄 (postoperative delirium: POD) です。PODは患者の安全性や術後の生活の質に影響を及ぼすだけでなく、医療経済にも大きな影響を与える重要な課題となっています。海外では、POD予防・治療に関するガイドラインが公表されていますが、世界で最も高齢化が進んでいる日本には、これまで独自のPOD予防・治療の指針が存在していませんでした。そこで、日本麻酔科学会と日本老年麻酔学会が協力し、PODの予防と治療に関するエビデンスを収集・解釈し、安全で質の高い高齢者の周術期管理を行うための情報を提供することを目的に、「高齢者における術後せん妄の予防と治療のプラクティカルガイド」の作成に取り組みました。

本セミナーでは、プラクティカルガイドの内容とその特徴について概説するとともに、作成の過程で明らかになったPODに関する課題や、今後私たちが取り組むべき方向性について皆さんと共有したいと思います。

日時

2025年2月15日(土)

14:00-14:40

会場

栃木県日光市 日光東照宮

第1会場 客殿(大広間)(2F)